

電池について

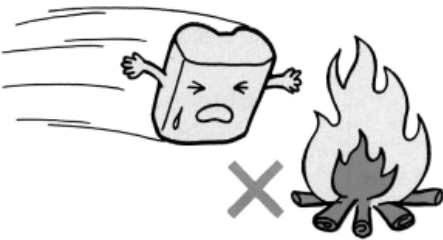
- SF7のカメラ用は、リチウムの「2CR5」、デート用はリチウムの「CR2025」電池を使用します。
- 電池は正しく使いましょう。誤った使い方は漏液・発熱・破裂の恐れがあります。入れるときは⊕⊖を正しく入れてください。
- カメラを長期間使わないときは、カメラから電池を出しておいてください。古くなった電池は液もれを生じ故障の原因になることがあります。特にデート用電池は幼児の手の届かない所に保管してください。
- 電池を分解したり、充電したり、火の中に入れると破裂の恐れがあります。

- 低温では、一時的に電池の性能が低下して容量不足になることがあります。常温に戻れば使用できます。
- 旅行や野外撮影などには、予備電池を用意しておくで安心です。
- カメラバッグなどに入れるとき、シャッターボタンが押されると電池が消耗します。スイッチを○にして切っておくと安全です。
- 内蔵ストロボを連続して使うと、カメラ用電池が多少温くなる場合があります。これは電池の特性で異常ではありません。

撮影可能フィルム本数およびバルブ時間

常 温 時	一般撮影		約 150 本
	ストロボ撮影	50%使用	約 40 本
		100%使用	約 20 本
	バルブ露出時間[常温時]		約10時間

新品のリチウム「2CR5」電池で、当社試験条件による。[24枚撮りフィルム]



ファインダー内の露出警告表示

ファインダー内表示	内 容
P 2000	プログラム自動露出での「測光範囲外」です。そのまま撮影すると、適正露出は得られません。 [L Tの点滅は手ぶれ警告、早い点滅は測光範囲外]
P LT	
A 2000	シャッター優先自動露出での「測光範囲外」または「連動範囲外」です。「連動範囲外」は、シャッター速度を変えれば撮影できます。「測光範囲外」は、シャッター速度を変えても点滅が消えません。そのまま撮影すると適正露出は得られません。
A LT	
A 2000	絞り優先自動露出での「測光範囲外」または「連動範囲外」です。「連動範囲外」は、絞りを変えれば、撮影できます。「測光範囲外」は、絞りを変えても点滅が消えません。そのまま撮影すると適正露出は得られません。
A LT	[L Tの点滅は手ぶれ警告、早い点滅は測光範囲外]
M 500 125	マニュアル露出での「適正露出外」です。シャッター速度や絞りを変えて、点滅が消えて速度表示が一つになれば適正露出です。
M 250 60	
M 2000	マニュアル露出での「測光範囲外」は、シャッター速度や絞りを変えても点滅が消えません。そのまま撮影すると適正露出は得られません。
M LT	
P 250	メモリーロック使用中は、ファインダー内の点滅で知らせます。
P 60	バッテリー警告表示 カメラの電池が消耗して容量が少なくなったことを点滅で知らせます。表示パネルには、マークが点滅します。
	ストロボ撮影が必要な被写体条件では、マークが点滅してストロボの使用をお勧めします。

- 警告は点滅によって知らせます。
- 測光範囲外とは、被写体の明るさが極端に明るい暗いため、カメラの露出計が働く範囲を越えている場合です。
- 連動範囲外とは、測光範囲内でもシャッター速度と絞りとの組み合わせが使用限界を越えているときです。
- 左表のは点滅表示です。
- 被写体が暗くて30～LT[1/30、1/15秒以下]のシャッター速度[橙色]になったときは、手ぶれの危険がありますので、ストロボや三脚を使つての撮影をおすすめします。

測光範囲外のときの撮影方法

- ①被写体が明るいときは市販のNDフィルターをご利用ください。
- ②被写体が暗いときは、ストロボや他の照明光が必要です。

SF7と各種ペンタックスレンズを組み合わせたときの機能

交換レンズ	SF7機能 プログラム自動露出 シャッター優先自動露出	絞り優先自動露出 マニュアル露出	AF [オートフォーカス]		MF [マニュアルフォーカス]	
			AFアダプター 1.7×を 組み合わせたとき	AFマークの使用	マウント部分合わせ	マウント部分合わせ
Fレンズ (SMC PENTAX-F)	○	○	○	○	○	○
Aレンズ (SMC PENTAX-A)	○	○	×	○※	○※	○
Mレンズ (SMC PENTAX-M)	×	○	×	○※	○※	○
Pレンズ (SMC PENTAX)	×	○	×	○※	○※	○
ねじ込み旧タクマーレンズ	×	○	×	×	×	○

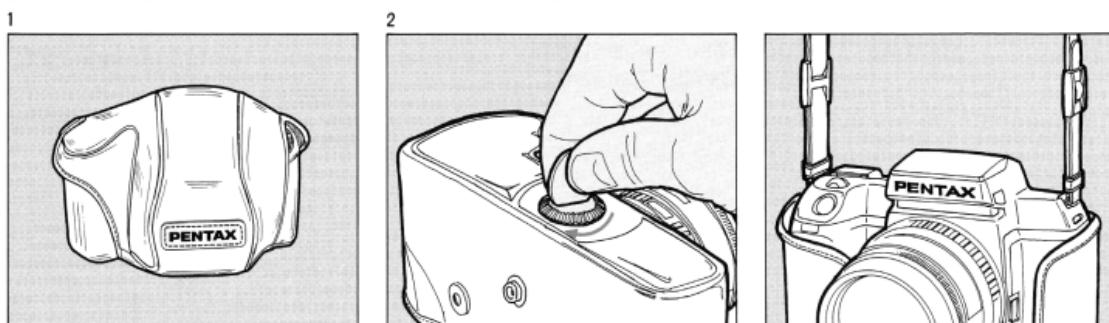
※※印のレンズには、下記のような使用制限があります。

- MF [マニュアルフォーカス] でピントを合わせるときは、レンズの開放F値がF5.6を含めてそれ以上の明るいレンズが使用できます。
- レンズの開放F値がF2.8を含めてそれ以上の明るいレンズ「AFアダプター1.7×」を組み合わせたときオートフォーカス撮影が使えます。
[詳しくは、AFアダプター1.7×の説明書をご覧ください。]
- ねじ込み旧タクマーレンズは、絞り込み測光となります。

- AF [オートフォーカス] に合わせて、KA マウント [A レンズ] や K マウント [M、P レンズ] レンズを使うと、「スナップインフォーカス撮影」[被写体がある位置にあらかじめピントを合わせ、シャッターボタンを押したままにすると、ピントの合った瞬間にシャッターが切れる。]ができます。
[ケーブルスイッチF使用可能]

63●

ソフトケース



ソフトケースはバックケース[底ぶた]とフロントケース[前ぶた]で組み合わせられています。

1. フロントケースを開いてカメラをバックケースに入れます。
2. ケース下部の取り付けネジを締め付けて固定します。

* ソフトケース[別売]には、SF7用とSF7クォーツデット用があり、クォーツデット用はカメラをケースに入れたままで、表示の切り替えができます。なお、フロントケースは共用で、標準用のSのほか、M・Lの3種類があります。

ケース	適合するFレンズ
S	50mm/F1.4・F1.7、ズーム35～70mmなど
M	135mm/F2.8、ズーム35～105mmなど
L	マクロ100mm、ズーム70～210mmなど

専用アクセサリー〔別売〕

S F 7には、各種専用アクセサリーが用意されています。詳しくは、カタログ等をご覧ください。

●ケーブルスイッチF

S F 7やS F X用のリリースコード。

●マグニファイヤーF_B(近日発売)

ファインダー中央部を拡大して見る、接写用アクセサリー。

●オートストロボAF240FT、AF400FTZ

AF240FTはガイドナンバー24、AF400FTZはガイドナンバー40のズームストロボ。また、先幕・後幕シンクロ撮影などが可能。

●ホットシューアダプターF、延長コードF 5 P

AF240FTやAF400FTZをカメラから離してストロボ撮影するときのアダプターとコード。

●赤外リモートリリースコード

遠隔操作の赤外リモートコントロールシステムとS F 7を接続するコード。

●AFアダプター1.7X

F2.8より明るい、K_A・Kマウントレンズでオートフォーカス撮影するためのアダプター。

●データバックF_B

日付や時間を写真に写し込むことが可能。
〔S F 7は、データバックFも使用可能。〕

●インターバルデータバックF

日付や時間のほかにカウントなどを写し込むこともでき、さらにタイマー撮影などが可能。

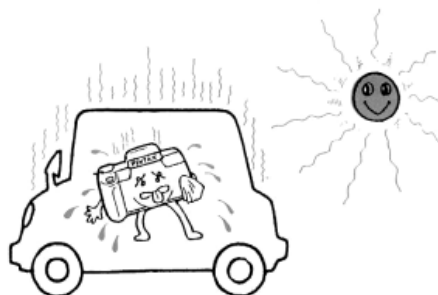
アクセサリーの注意

- 「オートベローズA」は、ダブルリリースが使用できません。また、縦位置撮影のときは、S F 7のグリップ側を上にしてご使用ください。
- 「645レンズ用アダプターK」を使うときは、アダプターの取り付け位置によっては、固定ネジがS F 7に当たる場合がありますので、取り付けるときにご注意ください。
- S F X用のアクセサリーで、「マグニファイヤーF」、「アイカップF」「ホットシューカバーF」は使用できません。マグニファイヤーは、「マグニファイヤーM」や「マグニファイヤーF_B」をご使用ください。

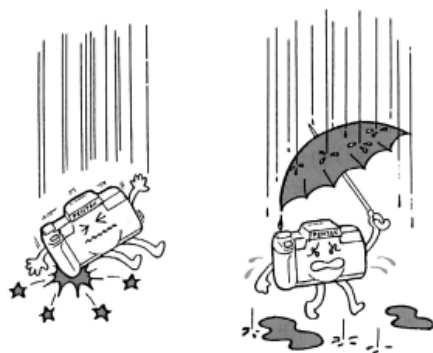
65●

取り扱い上の注意

- カメラは精密機械です。取り扱いには充分ご注意ください。
- 落としたり、固い物にぶつけないようにしてください。もし強いショックや圧力を与えたときは点検を受けてください。
- レンズやファインダー窓のホコリはブロワーで吹き飛ばし、レンズブラシで取り去ってください。
- 高温多湿の所へ保管したり、長時間放置することは避けてください。特に車の中は高温になることがありますのでご注意ください。



- カメラの使用温度範囲は50℃～-10℃です。
- 暖かい部屋と寒い外などを急に出し入れすると、カメラの内外に水滴を生じます。温度変化の大きいときはバッグやビニールの袋に入れて、10℃の温度変化に対して30分以上をかけ、ゆるやかに変化させてください。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの溶剤は使用しないでください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入ると、故障の原因になりますからご注意ください。保証期間中でも有料修理になる場合があります。雨や水滴などが付いたときは、良く拭いて乾かしてください。



- シャッター幕やミラーには、手を触れないでください。
- 一般に、電気系のトラブルは接点部の汚れやゴミが原因になる場合が多いものです。もし、電気系の不具合と思われる現象が出たときは、電池の接点や各部の接点に電池の液もれや手油などによる汚れ、塩分や特殊ガスなどによる腐食、あるいはゴミなどが付いていないかチェックしてみてください。
- 汚れやゴミを取り除いても不具合の場合は、当社のサービス窓口で点検を受けてください。
- サービスサイズのカラープリントでは画面周辺でフィルムに写っていたものが切られてしまうことがあります。構図を決めるときに少し余裕を残しておくとう安全です。
- 水没品は修理不可能の場合が多くなります。当社のサービス窓口にご相談ください。
- 高性能を保つため、1～2年毎に定期点検をおすすめ致します。長期間使用しなかったときや大切な撮影の前には、点検や試し撮りをされるようにしてください。

LCD[液晶表示]用バックアップ回路

撮影中に電池交換のために電池を抜いたときは、撮影枚数とフィルム感度は記憶回路が働きますから、合わせ直す必要がありません。

LCD[液晶表示]について

- 約60℃の高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもあります。これは液晶の性質によるもので故障ではありません。

67 ●

仕様[SF7およびSF7クォーツデット]

型式	ストロボ内蔵マルチモードTTL AE・AF 35mm一眼レフカメラ
画面サイズ	24×36mm
使用フィルム	35mmフィルム[J135パトローネ入り] 35mmDXフィルム=ISO 25～5000 DXでないフィルム=ISO 100固定
露出モード	プログラム自動露出、シャッター優先自動露出、絞り優先自動露出、マニュアル露出
シャッター	電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター オートシャッター1/2000秒～30秒、マニュアルシャッター1/2000秒～1秒、 電磁リリーズ、メインスイッチOFFでシャッターロック
レンズマウント	ペンタックスK _{AF} マウント[AFカブラー・レンズ情報接点付Kマウント]
使用レンズ	SMCペンタックスFレンズ[SMCペンタックス・A・Mレンズ……従来のK _A ・KマウントレンズのうちF5.6以上の明るいレンズはフォーカス表示による撮影が可能。F2.8以上の明るいレンズはAFアダプター1.7×によりAF可能。]
オートフォーカス機構	TTL位相差検出式 オートフォーカス作動輝度範囲EV2～18[ISO 100]シングル撮影、 フォーカスロック可能 合焦速度 最短～∞約0.3秒[Fズーム35～70mm使用時] 低輝度時AFスポットビーム[有効距離1～4m]
ファインダー	ペンタプリズムファインダー[銀コート] アスフェリック・マイクロ マットフォーカシングスクリーン 視野率 縦・横92% 倍率0.82×[50mm・∞] 視度 -1D[ディオプトリー]
ファインダー内LED表示	フォーカス表示 [] 合焦表示[緑ランプが光る] 前ピン・後ピンおよび合焦不能表示[緑ランプ点滅] プログラム自動露出=P 2000～30、LT シャッター優先自動露出・絞り優先自動露出=A 2000～30、LT、マニュアル露出=M 2000～30、LT [] 光るときは=ストロボ充電完了表示、[] 点滅は=ストロボおため表示またはストロボ発光禁止警告、 メモリーロック表示=表示LED点滅、 手ぶれ警告=30～LT橙色表示、測光運動範囲外=2000またはLTが点滅表示
LCD表示パネル	プログラム自動露出=[A U T O] [P R O G.] 表示 シャッター優先自動露出=[A U T O] シャッター速度[1/2000～1秒] 表示 絞り優先自動露出=[A U T O] 表示 マニュアル露出=シャッター速度[1/2000～1秒] 表示 バルブ=[b u l b] オートフォーカス=[AF] 表示、マニュアルフォーカス=[MF] 表示、1コマ撮影=[] 表示、 連続撮影=[] 表示、セルフタイマー撮影=[] 表示、電池消耗=[] 表示、

	パトローネ・フィルム走行・巻き取りマーク＝  表示、 フィルム枚数・セルフタイマー＝0～99 表示
セルフタイマー	始動はシャッターボタン、電子式赤ランプ表示、作動時間約12秒[点滅・音・減算表示]、作動後解除可能
ミラー	スイング上昇式、クイックリターンミラー、オートフォーカス用第2ミラー付
フィルム入れ	オートローディング、裏ぶた閉じにより1枚目まで自動巻き上げ、裏ぶたにフィルム情報窓付
巻き上げ・巻き戻し	内蔵モーターによる自動巻き上げ・巻き戻し式 1コマ撮影 連続撮影[約2コマ/秒]、フィルム終了時自動停止、巻き戻し時間は24枚撮りフィルムで約20秒、 巻き戻し完了時自動停止、フィルム走行・巻き戻し完了をLCD表示
露出計・測光範囲	TTL分割測光、受光素子複合型SPD、50mm F1.4 ISO 100 EV1[F1.4・1秒]～19[F22・1/1000秒]
メモリーロック	ボタン式[ボタンを押している間ON]、表示中シャッターボタンを軽く押すとメモリーロック継続
ストロボ	並列制御TTLストロボ内蔵、ガイドナンバー12[ISO 100/m]35ミリレンズをカバー、 ストロボおため表示および充電完了表示付、同調速度1/60秒・1/100秒へ自動切り替え、 日中シンクロ・マニュアルで低速シンクロ可能、不適合レンズの場合、充電完了表示が点滅警告[Fレンズ]
シンクロ	ホットシュー[X接点 専用ストロボ接点付]専用ストロボ連動
電源	6Vリチウムパック電池[2CR5] 1個
電池消耗警告	バッテリーマークおよびファインダー内LED[点滅警告]表示、[バッテリーマーク点滅時シャッターロック]
裏ぶた	交換可能、[データバックF _B ・インターバルデータバックF]
大きさ・重さ	152.5[幅]×96[高]×63.5[厚]mm 630g[ボディのみ、電池別]
付属品	ホットシューカバーF _B 、リリースソケットキャップF、 アイカップF _B 、ファインダーキャップ、カメラストラップF

クォーツデイト(デイト仕様)

デイト機構	クォーツ制御・液晶表示式・デジタル時計・オートカレンダー〔西暦2019年まで、閏年は自動修正〕
データの写し込み方法	7セグメント6桁LCD[液晶]、フィルム背面より写し込み
データ表示	データ表示窓にLCD[液晶]表示、表示写し込み時 ― マークが2～3秒間点滅
データの種類	①年・月・日、②日・時・分、③……〔データ写し込み無し〕④月・日・年、⑤日・月・年、 年月日[年＝87～19(1987～2019年) 月＝1～12、日＝1～31]、時分[時＝0～23 分＝00～59]
使用フィルム感度	ISO 25～1600[感度自動セット]
データ電源	CR2025型[リチウム電池]
発光回数	約5000回
大きさ・重さ	152.5[幅]×96[高]×66.5[厚]mm 650g[ボディのみ、電池別]

69●

こんなときは? [詳しくは、各ページをご覧ください]

修理を依頼される前にもう一度、次の点をお調べください。

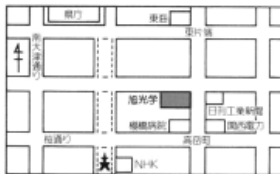
症状	原因	処置	参照ページ
シャッターが切れない。	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れてください。	13ページ
	バッテリー警告  が出ている。	電池を交換してください。	7ページ
	フィルムの最後まで撮影が終わっていない。	フィルムを取り出してください。	26ページ
	電池が逆に入っている。	電池を正しく入れてください。	7ページ
	セルフタイマーになっている。	セルフタイマーを解除してください。	50ページ
	バルブ撮影で、セルフタイマーを使用している。	セルフタイマーを解除してください。	44ページ
表示パネルに表示が出ない。	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れてください。	13ページ
	電池が入っていない。	電池を入れてください。	6ページ
	電池が完全に消耗している。	電池を交換してください。	7ページ
ピントが合わない。	ピントを合わせたい物[被写体]に  フォーカスフレームが合っていない。	被写体を  フォーカスフレームに入れて、撮影してください。	18ページ
	写したい物に近すぎている。	写したい物から離れてください。	18ページ
	ズームレンズが、マクロになっている。	マクロを解除するか、カメラの位置を前後してみてください。	レンズ説明書参照
	MF[マニュアルフォーカス]になっている。	AF[オートフォーカス]にしてください。	16ページ
	オートフォーカスの苦手な被写体。	フォーカスロックを使うか、マツト部分でのピント合わせや内蔵ストロボ[AFスポットビーム]などをご利用ください。	20ページ 47ページ 33ページ



横浜サービスセンター
 ☎045(681)8711(代)
 〒231
 横浜市中区不老町1丁目6番9号
 横浜エクスレントVビル3階



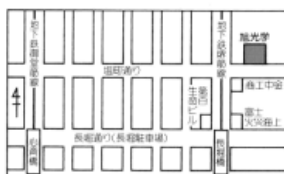
静岡サービスセンター
 ☎0542(55)6308(代)
 〒420
 静岡市伝馬町24番2号
 住友建設ビル5階



名古屋サービスセンター
 ☎052(962)5331(代)
 〒461
 名古屋市中区泉1丁目19番8号



金沢サービスセンター
 ☎0762(22)0501(代)
 〒920
 金沢市尾張町2丁目8番23号
 太陽生命ビル6階



大阪サービスセンター
 ☎06(271)7996(代) (修理受付)
 〒542
 大阪市南区南船場1丁目17番9号
 ペンタックスフォーラム・大阪
 (ショールーム・写真展)
 ☎06(271)3960



広島サービスセンター
 ☎082(248)4321(代)
 〒730
 広島市中区中町8番12号
 広島グリーンビル2階

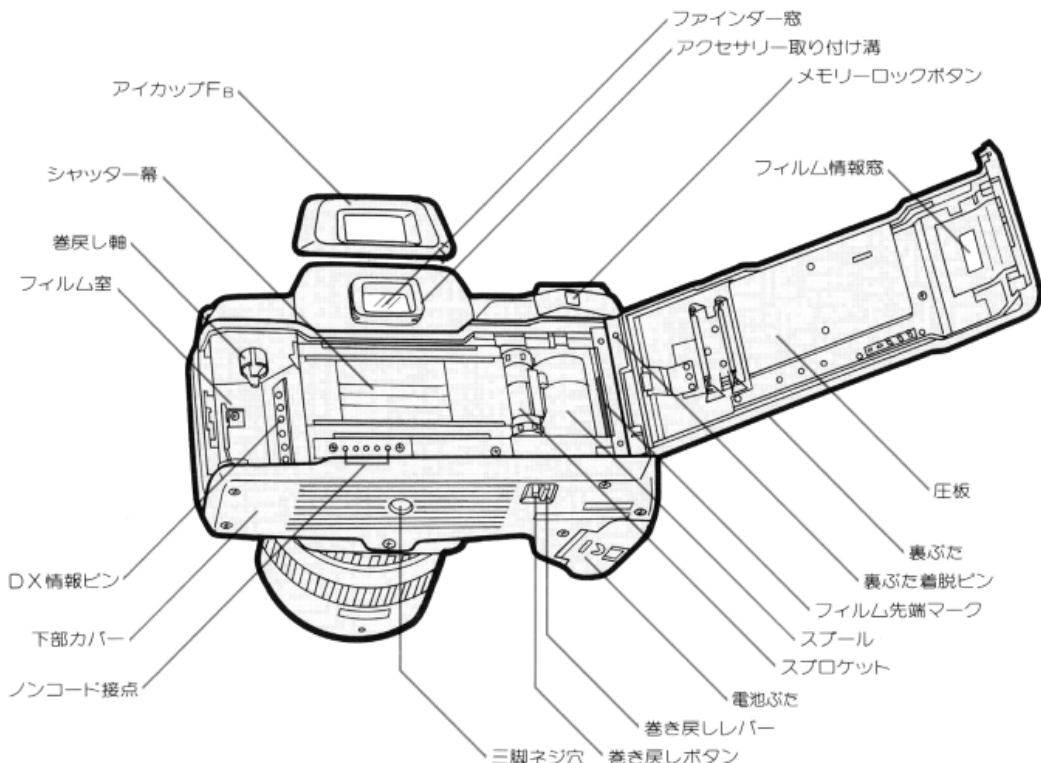


福岡サービスセンター
 ☎092(281)6868(代)
 〒810
 福岡市博多区中洲中島町3番8号



ペンタックスギャラリー
 (カメラ博物館)
 ☎03(401)2186
ファミリー (写真クラブ)
 ☎03(401)2187
 〒106
 東京都港区西麻布3丁目21番20号

各部の名称【クォーツデパートの名称は58ページをご覧ください。】



- 旭光学のサービス窓口では、ペンタックスカメラをはじめ、各種交換レンズやアクセサリが展示され、手にとってご覧になれます。また、種々のご相談にも応じておりますので、お気軽にお立ち寄りください。
 - 他社製品〔レンズ、アクセサリ等〕との組み合わせ使用に起因する故障については有料となります。
1. 修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口
に直接お持ちください。郵送の場合は、カメラの化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に
耐えるようしっかり包装し、書留小包便でお
送りください。なお、不良見本のフィルムや
プリント、また、故障内容は正確にメモして
添付していただくと原因分析に役立ちます。
 2. 保証期間中〔ご購入後 1 年間〕は保証書〔販売
店印、および購入年月日が記入されているも
の〕をご提示ください。保証書がないと、保証
期間中でも修理が有料になります。なお、販
売店または当社サービス窓口へお届けいただ
く諸費用は、お客様にご負担願います。
 3. 保証期間以後の修理は原則として有料です。
なお運賃諸掛りはお客様にご負担願います。
 4. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後、
10年間を目安に保有しております。したがっ
て本期間中は原則として修理をお受け致しま
す。なお、期間以後であっても、修理可能の
場合もありますから、当社の各サービス窓口
にお問い合わせください。
 5. 外国旅行をされる場合、各サービス窓口では
お手持ちの保証書と交換に、国際保証書を発
行致します。〔保証期間中のみ有効〕なお、
特定の旅行先でのサービス窓口の住所につい
ては、お問い合わせください。

● 75



旭光学工業株式会社

〒174 東京都板橋区前野町 2 丁目 36 番 9 号 ☎ 03(960)5151(代)

旭光学商事株式会社

〒100 東京都千代田区永田町 1 丁目 11 番 1 号 ☎ 03(580)2051(代)